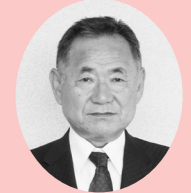


# 市問う！ 市政を

## 一般質問

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えをただし、報告や説明を求めることです。  
 ◎ここに掲載したのは要約で、会議録に基づき議員本人が編集したものです。  
 ◎詳細は会議録（今回の会議録は、12月頃からホームページ、図書館、各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご参照ください。

氏名	質問の要旨
内藤 栄治	1 大川市の環境対策について
遠藤 博昭	1 おおかわ寺子屋の現状と今後について 2 フッ化物洗口の取り組みについて
西田 学	1 防災と花宗川改修について 2 いちよう通りの延伸計画について 3 木室幼稚園の跡地活用について
宮崎 稔子	1 食品ロスに向けた取り組みについて 2 新生児聴覚検査に公費助成を！
馬淵 清博	1 大川の農業情勢とその対応は 2 大川の地域防災計画の検証について
永島 幸夫	1 大川市斎場の今後の運営について
永島 守	1 地場産業成果と将来への展望



大川市の環境対策について

内藤 栄治 議員

**問** 6月のG20大阪サミットで共有された、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向け、日本は途上国の廃棄物管理に関する能力構築及びインフラ整備等を支援していくと表明した。日本から年間約6万吨海へ流れている海洋プラスチックごみは、5ミリ以下のマイクロプラスチックとなり、魚に取り込まれ、食物連鎖で私たちの体内にも蓄積している。花宗川にもプラスチックごみが、次々に流れてくる。打開策はないのか。プラスチックごみについての見解は。

**答** 海洋プラスチック問題は、海洋の生態系に悪影響を与えるほか、人の健康にも影響を及ぼす問題であり、プラスチックごみの不法投棄の防止とリサイクルの促進を強化する必要があると考えています。

**問** 7月21日と8月28日の大雨による被害状況と、その対応は。

**答** 7月21日は住宅の床上浸水3件、床下浸水122件、道路の路肩崩壊2件、水路の法面崩壊7件、農業や商工関係の浸水被害等がありました。大雨・洪水警報発表後、災害警戒本部を立ち上げ、関係機関と連携し、対応を行いました。8月28日は住宅の床下浸水が53件あり、道路、水路、農業被害等については現在調査中です。大雨特別警報発表後、災害対策本部を立ち上げ、対応を行いました。

**問** 花宗川改修事業の進捗状況は。

**答** 昭和43年度に着手され、下流側から河道の拡幅、護岸の整備、橋梁の架け替え等が実施されて、筑後川合流部から酒見橋までの約3キロメートルが概成しています。現在は酒見橋から上流において護岸工事が行われています。



防災と花宗川改修について  
いちよう通りの延伸計画について  
木室幼稚園の跡地活用について

西田 学 議員

**問** いちよう通りから蒲池駅方面へ通じるバイパス道路の計画は。

**答** 県において、現時点では具体的な計画には至っていません。今後、県や柳川市との協議が必要になると思っています。

**問** 下木佐木川南地区と下牟田口地区を結ぶ花宗川橋梁の計画は。

**答** 大川東部第2地区の事業が進められていた平成11年度頃までは橋梁整備の計画がありましたが、実現には至らず、現時点ではこの橋梁整備の計画はありません。

**問** 木室幼稚園跡地の公募型プロポーザル方式の売却の進捗状況は。

**答** 問い合わせが2件あり、そのうちの1件が現在購入に向けて前向きに検討していただいています。**要望** 売却ではなく、貸し出しでできないか。例えば、水防倉庫、大川大木交通安全協会、大川・木地区防犯協会に活用願いたい。

**問** 2018年度から実施している、市内中学生に学習の場を提供する市教育委員会の事業「おおかわ寺子屋」について、現状と今後の方向性を伺いたい。

**答** 事業開始に先立って行った生徒、保護者へのアンケートの結果では、多くの生徒に参加希望がありました。実際の参加は毎回6人程度でした。学習支援ボランティアは、一般の方が14名、大学生が21名です。

本年度は、生徒が参加しやすいように、参加時間に制限を設けない等の見直しを行いました。また、会場が遠方で参加しにくいとの生徒の意見もあったため、学習支援ボランティアの方々の協力を得ながら、7月より三又中学校生徒を対象に、三又コミュニティセンターに新たに会場を設け、市内2か所での開催とし、生徒が

参加しやすい環境としました。今後のおおかわ寺子屋の運営については、各中学校長を通じて生徒の参加を促し、引き続き、地域の皆様のご協力を得ながら取り組んでいきたいと考えています。

**問** 道海島小学校で実施されている虫歯予防のためのフッ化物洗口の取り組みに関して、今後、大川市内の全小学校への広がりについて伺いたい。

**答** 道海島小学校におけるフッ化物洗口の取り組みは、1年5か月が経過しており、本年2学期からは、事業の実施主体を県から市へ移行し、引き続き実施してまいります。今後は、市内の子ども達の健康増進の一環として、歯科医師会や学校関係者の協力をいただきながら、保護者の皆様のご理解を求め、市内全児童への実施に向けて検討していきたく思っています。



おおかわ寺子屋の現状と今後について  
フッ化物洗口の取り組みについて

遠藤 博昭 議員